

# ごとう通信

第 92 号

平成 20 年 8 月 1 日

皆さんご機嫌いかがですか。今年の夏もやっぱり暑いですね。ただ、今年の夏は、暑さというよりも地震や水害、突風といった別の災害が問題となっています。単に暑い、涼しいではないので本当に地球が変わってきているということを実感せざるを得ません。「誰が」ではなく、地球を使わせていただいているわれわれ全員の責任として対応していかなくてはならないことですね。

最近では環境問題に考慮したいいろいろな製品や技術が開発され、一市民として大いに期待を寄せるところですが、もっと根本的に生活スタイルなどを変えないと追いつかないよ

うな気もします。皆さんはどう思いますか？

さて、先日、愛車（もちろん自転車）の前輪がパンクしてしまい、何とかいつもお世話になっている自転車屋さん（百人町）にたどり着きました。その日は時間があつたので大将の作業をじっくり見せていただきました。他の職業の仕事をみるのって楽しいですね。

まずはタイヤの周囲を外し、中のチューブを取り出します。空気を入れ、水槽につけて穴の開いた部分を探していきます。「ここだー」というところからは空気がブクブク。他のところも調べて原因を確定します。穴の開いたところをよく乾かし、軽く研磨（接着しやすいようにゴムをきれいにする）し、接着剤を薄く塗って乾かします。そこへゴムシートを

ぺたりと貼り付けしつかり押さえつけます。これで終わりかと思うとそうではありません。最後に、ホイールの外側を丹念に調べます。そこにはバラのとげが針のように小さくなつて刺さっていました。とげを抜いてタイヤを組み立て終了。

ほくと思いつつ、なんでも同じだなあと感じました。場所の特定、修理（治療）、原因追求の三本柱は医療でも自転車修理でも共通するんですね。もう一つ、信頼できる人にやってもらうとホツとしますね。

## アポイント期間

皆さんは診療が終わって次の予約までの期間をどう取っているのかご存知ですか？もちろん皆さんケースバイケースですので全員に当てはま